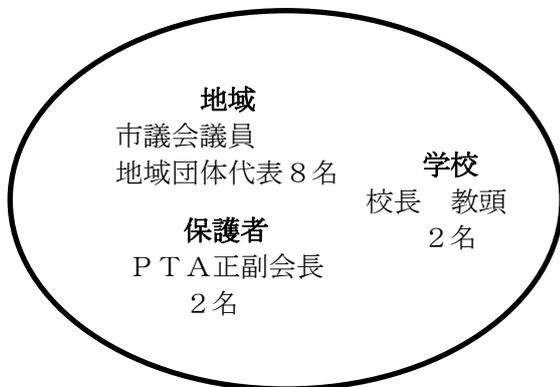


# 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市麻生津小学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### 地域コーディネーター（3名）

- ・麻生津地区自治会連合会
- ・麻生津公民館
- ・麻生津PTA役員

### (2) 協議会の内容

- ① 開催回数 年間3回
- ② 開催日程  
第1回 7月11日  
第2回 10月29日  
第3回 2月4日
- ③ 協議内容
  - ・学校経営方針(スクールプラン)
  - ・学校評価
  - ・地域での子どもの姿
  - ・子どもの学力や体力、生活実態
  - ・来年度の教育活動

### (3) 協議会における成果と課題

地家庭・地域・学校が双方向に情報交換する場をもち、子どもの成長について課題・成果を十分に共有することができた。特に、学校評価に基づき、地域とともにある学校づくりの充実・改善に生かす意見交換が深まった。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域の方とふれあいながら積極的に地域行事に参加していく活動や麻生津地区の歴史を調べていく活動、稲作体験活動を通して、地域への愛着と誇りをもち、主体的に行動する児童を育成する。

### (2) 活動の実際

#### ① 「紙すき体験～観月の夕に向けて」(5・6年生)

地域行事「観月の夕」で飾られる行燈を制作するため、本校児童5、6年生が「紙すき」体験を行った。地域コーディネーターを通して地域のボランティアや和紙の里からのゲストティーチャーを招いた。作成した和紙に全児童、教職員が「観月の夕」



のテーマをイメージしたイラスト等を描く活動を行い、行燈を完成させた。出来上がった行燈は、ハーモニーホール内に飾られた。地域の人と一緒に紙すきをするという活動は、児童にとって地域行事への積極的な参加となったようである。

#### ② 「麻生津の歴史を探ろう」(5年生)

「麻生津の歴史を探ろう」をテーマに、小グループで地区の史跡や遺跡を調査する活動を展開した。学習活動の1つとして、地域コーディネーターの調整の元、「私たちのふるさと麻生津」の著者でもある「木村健氏」に語り部となってもらい、泰澄寺や三十八社遺跡、本陣跡等の歴史散策を実施した。木村氏所有の1200年前の地図をもとに語られる説明を、児童は熱心に聞き、地域の歴史を深く学んでいた。

### ③「米作り体験」(3年生)

田園が広がる校区であるが、田や泥にふれあう児童がほとんど見られない。地域の農家の人やJAの協力を得て、田植えや稲刈り体験を実施した。田植えでは泥の中に入ることを躊躇したり、稲刈りでは刈り終えた稲株に足を取られたりしていた。その他、バケツ稲栽培やかかし作り、粃すり体験活動を通して、米作りをする農家の人や食への感謝を深めることができた。

#### (3) 地域コーディネーターの活動概要

紙すき体験や稲作体験では、地域と学校とのつなぎ役となり、多くの地域人材を募るなど活動が円滑に進められるように支援を行った。また、紙すきだけでなく、「観月の夕」全体でも児童が主体的に参加できるような企画を組んだ。さらに、ふるさとの歴史を探る学習では、地域の歴史に詳しい人材を語り部として活用する学習を企画する支援を行った。

#### (4) 特に工夫した事項

地域コーディネーターとの連携で、どの活動にも多くの地域人材を活用し、ふれあう貴重な体験を多くした。また、地域人材から、地域の歴史や生産活動について直接学ぶことで、学習を深め、地域への関心を高めるようにした。

#### (5) 成果と課題

地域の行事に参画したり、地域の歴史や生産活動を調べたりする活動を通して、児童が自分の地域への関心を高めていくことができた。今後は、より地域と進める体験活動を増やしたり、児童が主体的な学びを展開したりするために、学校と地域コーディネーターとの連携強化を図っていくことが課題である。